

2024年2月20日

株式会社トクヤマ

柳井市に窒化ケイ素製ベアリングボールの開発拠点を開設

株式会社トクヤマ(本社:山口県周南市、社長:横田 浩)は、自動車、工作機械、電子機器など高精度な回転機器の軸受けに使用される窒化ケイ素製のベアリングボールの開発拠点を山口県柳井市の先進技術事業化センター内に開設いたします。

通常、ベアリング(軸受け)ボールにはスチール(鋼球)が使用されますが、窒化ケイ素製ベアリングボールは軽量で優れた硬度や電気の通しにくさなどの特性があるため、特にインバーターからのリーク電流に起因する電食不良対策として注目されています。さらに、摩擦熱やエネルギー損失を低減することができるため、エネルギー効率の向上や機械の寿命延長に貢献することが期待され、脱炭素化の進展に伴い需要の増加が見込まれるEV車などのインバーターを使用する電気機器に搭載されていくものと考えております。

一方で、窒化ケイ素製ベアリングボールはスチールに比べて価格が数十倍高く、市場拡大の妨げとなっています。そこで当社では、低エネルギーで製造した窒化ケイ素粉末をベースに、独自のプロセスで成形から研磨までを行い、より安価な窒化ケイ素製ベアリングボールを提供することを目標に開発を進めることと致しました。

当社は、本製品の開発に注力し、さまざまな課題に取り組むことで、より多くの顧客に窒化ケイ素製品を提供することを目指しています。今後、省エネ型電子機器市場がさらに進展し、新たな社会インフラが整備される中、顧客ニーズに応じた窒化ケイ素製品のラインナップを拡充し、電子・環境に関わる産業の発展に貢献してまいります。

【窒化ケイ素製ベアリングボール事業の概要】

事業所名	株式会社トクヤマ 先進技術事業化センター
所在地	山口県柳井市南浜二丁目2番1号
敷地面積	10.2 万㎡(先進技術事業化センター敷地)
建築面積	約 900 ㎡
事業内容	窒化ケイ素製ベアリングボールの開発
操業開始	2023年12月
従業員数	15~20名を予定

【窒化ケイ素製ベアリングボール】



本件に関する問合せ先

株式会社トクヤマ

広報・IRグループ TEL 0834-34-2002